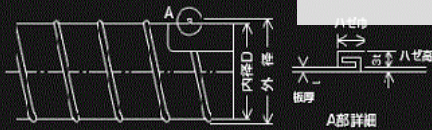


スパイラルダクトの製法

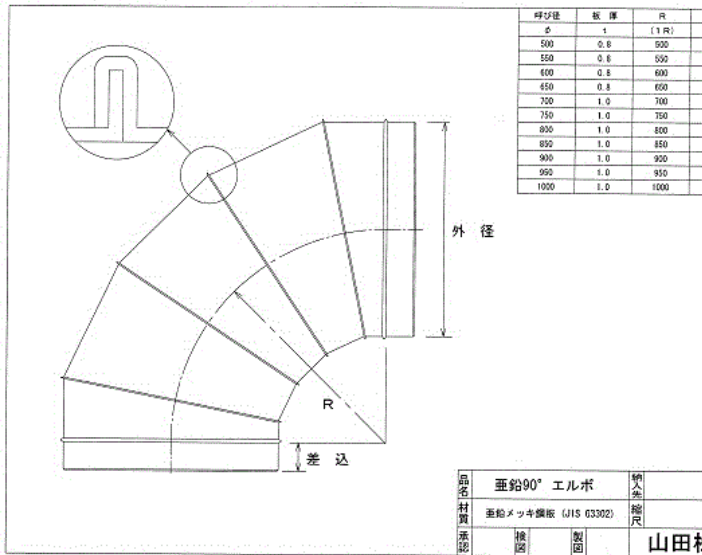
スパイラルダクトは幅75mm~150mm、厚さ0.4mm~1.0mmの帯鋼を下図の様にラセン状に巻きながら帯鋼の両端をハゼ折に重ね合せ、保持固定することによって製造される薄肉軽量のスパイラル鋼管です。重ね合せ部分は4枚の帯鋼が重なって、パイプの外周をラセン状に走りパイプの強度を高めています。



山田株式会社

スパイラルダクトの特長

スパイラルダクトの用途



創業明治23年

スパイラルダクト、フレキシブルダクトの製造などのダクト関連事業が業務の中心です。ダクトは、集合住宅や工場など、人が集う空間で、冷暖房、換気、集塵などを担う管状の設備で、日々の暮らしや職場を、快適で安全なものにしてくれています。創業は明治23年。100年を超える長い歴史は時代の変化に柔軟に対応してきた証で、このコロナ禍で、これまでにない程「空気」に視線が集まる中、ますます重要性は高まっています。